

組織部速報

2017年5月17日
No. 50

共謀罪廃案・安倍政権の改憲暴走を止めよう！5.16大集会

貨物労組30名が参加しデモ行進を行う！

発行

発行

2017年(平成29年)5月17日(水曜日)

12版

社会

26

プラカードを掲げ、「共謀罪法案は廃案に！」とデモ行進して訴える参加者ら＝16日午後7時56分、東京都千代田区で



「共謀罪NO」と書かれた無数のプラカードが、東京・日比谷の野外音楽堂に掲げられた。法案に反対するため、十六日夜にあつた集会には約四千二百人の市民が集まった。「戦前の歴史繰り返すな」「市民を監視しようとしている」。

「共謀罪NO!!」と書かれたプラカードを掲げ、集会後には、銀座までデモ行進して廃案を訴えた。

「ちゃんと議論して決まったものならまだ納得できるとは、聞く耳を持たない今の政府のやり方は許せない。イラストレーターの



「共謀罪」反対で集結

「政府は聞く耳を持たず」

「市民黙っていたらだめ」

岸本真弓さん(左)＝埼玉県飯能市＝は憤った。「まだ分らないことがあるのに、十分な説明もしないであつという間に決めてしまふ。政府への不信感ばかりが膨らんでいく」

国会審議の進め方についてはほかに不満の声が。団体職員の小高由起子さん(右)は「数に物を言わせるのではなく、話し合いをちゃんとしてほしい。何のために政治があるのか分からなくなる」と話した。法案について「テロを防ぐためというが、政権に批判的な人が狙われかねない」と懸念する。

いつもより仕事を早めに終えて集会に駆けつけたという鍼灸院を経営する仲丸則雄さん(左)＝川崎市＝は「共謀罪はどんどん拡大解釈される恐れがある。市民はだまっていたらだめ。声を上げていく必要がある。ささやかだとしても、それが反対の意思表示になる」と力を込めた。会社員佐々木真也さん(右)＝荒川区＝は「共謀罪は権力者の意思で適用範囲をコントロールできてしまふ」と訴えた。

中央本部・佐々木政策部長がインタビューを受け、記事として掲載されました。